

**「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書**

4-I-2

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセス方法の確認・整備
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等			
4-I-2 事業(施策)名	2 アクセスルートの管理及び整備 (国・県道)		事業主体	佐渡地域振興局地域整備部
	事業実施期間		関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセスルートの管理及び整備を行うことにより、来訪者の円滑な移動を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産登録による来訪者増等に対応した、島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセスルート(国・県道)の管理及び整備を行う。 			
事業実績	<p>【事業成果】</p> <p>島内の国・県道は24路線で約430kmとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 管理について 県管理道路のパトロールは、路線(区間)により平日の日中で、週1~5回実施しており、この他、夜間や休日のパトロールも行っている。 パトロールの視点としては、路面状況、安全施設や排水など附属施設の状況確認のほか、落石などに対応するため、法面の変状などにも気を配って実施している。 ● 整備について H28年度は、6路線、19箇所においてバイパスや現道の拡幅工事を実施(県単独事業を除く)し、道路利用者の安全性と利便性の向上に努めている。 今年度の主な供用箇所として、国道350号国仲バイパスの中原で約0.7km、県道佐渡一周線の真更川で約0.3km、および岩谷口の跳坂トンネルの拡幅を行った。 また、外海府の大型車通行規制区間の解消を目指し、待避所整備に着手した。 			
今後の取組・課題	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 管理について 島内に点在する、道路防災点検実施の要対策箇所への対応が必要である。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 整備について 現在着手している工事箇所を少しでも早く完成するとともに、要対策箇所への予算確保に努める。 			
事業評価	<p>【事業の達成度】</p> <p>(a) • b • c]</p> <p>【事業実施の効果】</p> <p>(a) • b • c]</p> <p>【総合評価】</p> <p>(A) • B • C]</p>			

- a:進んでいる。高い。
 b:概ね順調。概ね適切。
 c:遅れている。低い。

- A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
 B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
 C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。